

第3回 日本漢字能力検定 試験問題

氏名

〔不許複製〕

準2級 (G)

解答には、「常用漢字表」に示された漢字の字体、読みを使用すること。旧字体での解答は認めない。

(一) 次の一線の漢字の読みをひらがなで記せ。(30) 1×30

- 1 問題の本質を喝破する。
2 自然の恵みを享受する。
3 欠陥のある製品を急ぎ回収する。
4 元大統領が自叙伝を出版した。
5 国の財政が窮迫してきた。
6 肅々と葬礼が執り行われた。
7 二巻以降は隔月に逐次刊行される。
8 国賓として宮廷に招かれた。
9 補注を括弧でくくって示す。
10 ご壮健のこととお喜び申し上げます。
11 自らの境涯に思いを潜める。
12 大学当局の寛大な処置を願う。
13 年々人口が逡減している。
14 滋味豊かな講話だった。
15 友人や先輩に自著を謹呈した。
16 マラリア特有の症状が現れている。
17 できたばかりの吟醸酒を味わう。
18 仲間から疎外されていた。
19 不正が露顕し懲戒処分になった。
20 苦勞して集めた資料の散逸を防ぐ。
21 喪中のため祝宴への参加を辞退した。
22 新しく据えた機械が故障した。
23 もはやかつての面影はない。
24 ご愛顧を賜り光栄に存じます。
25 寝ぼけ眼で起きてきた。
26 橋のもとに蚊柱が立っている。
27 多くの人々が飢えに苦しむ。
28 交通費も併せて支給された。
29 幼かったころは虫を毛嫌いしていた。
30 低俗で見るに堪えない番組だった。

(二) 次の漢字の部首を記せ。(10) 1×10

〈例〉菜 門

- 1 隸
2 缶
3 蚩
4 艇
5 霽
6 漠
7 義
8 閑
9 豪
10 乏

(三) 熟語の構成のしかたには次のようなものがある。(20) 2×10

- ア 同じような意味の漢字を重ねたもの (岩石)
イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの (高低)
ウ 上の字が下の字を修飾しているもの (洋画)
エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの (着席)
オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの (非常)

次の熟語は右のア～オのどれにあたるか、一つ選び、記号にマークせよ。

- 1 彼我
2 珠玉
3 撤兵
4 旅愁
5 折衷
6 多寡
7 遍在
8 模擬
9 筆禍
10 不粹

(四) 次の四字熟語について、問1と問2に答えよ。(30)

問1 後の□内のひらがなを漢字にして1～10に入れ、四字熟語を完成せよ。□内のひらがなは一度だけ使い、答案用紙に一字記入せよ。(20) 2×10

- ア □1 天動地 カ 巧遅 □6 速
イ 延命 □2 災 キ 鶏口 □7 後
ウ 順風満 □3 ク □8 逆無道
エ 南 □4 北馬 ケ 危機一 □9
オ 朝三 □5 四 コ □10 励努力

- あく・ぎゅう・きよう・せつ
せん・そく・ぱつ・ぱん
ふん・ぼ

問2 次の11～15の意味にあてはまるものを問1のア～オの四字熟語から一つ選び、記号にマークせよ。(10) 2×5

- 11 非常にきわどいこと。
12 精一杯頑張ること。
13 休む間もなく諸方を旅する。
14 達者で長生きすること。
15 世間をおおいにびっくりさせること。

準2級

(G)

この面の設問(五)～(九)はマークシート方式ではありません。答えは別紙(答案用紙)に書くこと。

氏名

Blank box for writing the name.

(五) 次の1～5の対義語、6～10の類義語を後の□の中から選び、漢字で記せ。□の中の語は一度だけ使うこと。

対義語

類義語

- |      |       |
|------|-------|
| 1 疎遠 | 6 酌量  |
| 2 発病 | 7 根絶  |
| 3 懐柔 | 8 同等  |
| 4 傑物 | 9 永遠  |
| 5 個別 | 10 紛糾 |

いあつ・いっせい・こうりよ  
こんらん・しんみつ・ちゆ  
ひつてき・ぼくめつ・ぼんじん  
ゆうきゆう

(六) 次の一線のカタカナを漢字に直せ。

(20) 2×10

- 1 ジン速な処理が求められる。
- 2 会長が退ジンを迫られた。
- 3 市の福祉課がカン轄する業務だ。
- 4 空気がいつもよりカン燥している。
- 5 裁判のボウ聴を申し込む。
- 6 繁ボウ期は人手不足になる。
- 7 かつては海上のハ権を握っていた。
- 8 現在の情勢を正確にハ握する。
- 9 山の空気はスミ切っていた。
- 10 やるだけやって気がスんだ。

(七) 次の各文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を記せ。

(10) 2×5

- 1 原油価格の高騰への対応を協議する関係閣良会議が首相官邸で開かれた。
- 2 室内に入った花粉の除去には定寧でこまめな掃除が効果的とされる。
- 3 展覧会では話題の新進画家の大胆な抽象画がひととき異才を放っていた。
- 4 将来を囑望される小学生の囲碁棋士がプロ入り最年少記録を向新した。
- 5 登山届は山岳騒難事故の発生時に捜索や救助の重要な手がかりとなる。

(八) 次の一線のカタカナを漢字一字と送りがな(ひらがな)に直せ。

(10) 2×5

〈例〉問題にコタエル。

答える

- 1 ネムタクてあくびが出る。
- 2 事件の解決に心をクダク。
- 3 すっかり腕がニブツた。
- 4 理事の再任はこれをサマタゲない。
- 5 腹をカカエて笑い転げた。

(九) 次の一線のカタカナを漢字に直せ。

(50) 2×25

- 1 心理ビョウシヤに定評のある作家だ。
- 2 静かなコウガイから町中に引越す。
- 3 甘い歌声が聴衆をミリョウした。
- 4 寺のドベイが所々崩れている。
- 5 チョウヤク競技でメダルを取った。

- 6 搭乗してリリクを待つ。
- 7 誕生石のコンヤク指輪を贈られた。
- 8 ジョウスイ場の施設を見学した。
- 9 講演の依頼をショウダクする。
- 10 既成のガイネンにとらわれていた。
- 11 優れたドウサツカの持ち主だ。
- 12 コウキン加工のまな板を使う。
- 13 まだ時間にヨユウがある。
- 14 開会式で力強くセンセイする。
- 15 カニはコウカクスイに属する。
- 16 夕食のコンダテに頭を悩ます。
- 17 アルバイトをして学費をカセグ。
- 18 わさびがよく効いてカラい。
- 19 娘は赤い色のアマグツを欲しがった。
- 20 うわさを小耳にハサんだ。
- 21 言葉遣いからヒトガラが知られる。
- 22 しばらく真相をフせておく。
- 23 アザやかな手並みを見せる。
- 24 トマトが赤くウれている。
- 25 大安吉日にムネアゲをした。